

村民夫婦がオープンした“おしゃれなカフェ”

企業紹介

企業名 驛カフェ:レースフェーベル

- 代表者: 翠川 裕詞
- 所在地: 小県郡青木村田沢13-1
- 従業員数: 2名
- 事業内容: カフェ営業
- 連絡先: 0268-75-0726

支援を受けて

私たち夫婦の長年の夢であったカフェをオープンすることができました。開業に当たっては基本的な手続きから事業計画、売上計画、メニュー開発に至るまで北村、和田両支援員には、大変お世話になりました。ありがとうございます。これからもご指導ご鞭撻宜しく申し上げます。



翠川裕詞 氏

支援概要

■企業の現状・課題及び支援の経緯

青木村の国道143号線、青木村商工会館に隣接したバスターミナルの一角にカフェ「驛カフェ:レースフェーベル」が今年5月にオープンした。かつて鉄道の駅だったため、店名に「驛」の文字を掲げた。「レースフェーベル」は「スウェーデン語で旅行前の高揚感」の意味がある。

店主の翠川さんは地元の製造業に長く勤められ今年3月に退社し、念願であった、ご夫婦でのカフェ開業に踏み切った。

特長としては、店主が県内のコーヒー店を巡り、中川村カフェセラード、上田市亀山珈琲焙煎所などの厳選したコーヒー豆を店主が独自ブレンドしたオリジナルのブレンドコーヒーを提供している。

看板商品のランチメニューは、料理担当である奥様の光子氏が地元有機米、無農薬野菜を使用したこだわりのスパイスカレーである。また、スイーツもシャインマスカットなど季節限定のフルーツをふんだんに使ったメニューを提供している。

支援の経緯については、店主が開業を決意された約1年前に商工会に相談に訪れ、それから月2回のペースで飲食店開業へ向けた事業計画策定をサポートした。

■実施した支援内容

- ① お店の個性・差別化について、青木村の商圈に合った業態開発等を支援。
- ② 料理・サービス・店の雰囲気などの3つの観点から店舗の魅力表現を強化。

人気メニューの キーマカレー



店内のクレンリネス徹底のほか特に女性をターゲットとしたトイレの化粧台や、好感度の高い接客などを通じた来店頻度の向上、集客力アップを提案。

- ③ 専門家派遣を活用し、山崎愛氏によるSNS等指導及びホームページ作成支援。
料理研究家 玉川眞奈美氏による、地産地消の食材を使用した看板メニュー、定番メニューの開発、旬の野菜、フルーツを使ったスイーツの開発、盛り付け等の指導。



おしゃれな雰囲気の入口



坪内真弓作
当店オリジナル動物の
コーヒーカップ

支援の結果及び今後の展開等

青木村関係者の物心両面に亘る全面的な協力と翠川夫妻の自助努力で、念願のカフェ開業することができた。同時に末長く村民の皆様にも愛される憩いの場としての使命を帯びる事となった。村民の期待度も大変高いので、当然ランチメニューも地産地消の食材を使った安心・安全なメニューの提供は必須となる。ランチメニューについても地元の美味しい四季折々の野菜・果物を使用した季節限定のメニューの提供は重要なポイントと考える。商工会としても引き続き、接客マナーとクレンリネスの徹底を中心に、継続的な支援フォローを行っていく方針。

支援を実施して

カフェ開業までゼロからのスタートでしたが、商工会支援と村当局の全面的な協力もあり開業まで漕ぎつくことができました。信濃毎日新聞をはじめ多くのマスメディアに好意的に取り上げて頂きました。しかし開業してからが勝負と考えます。青木村行政や地域住民の期待に応えられるよう、繁盛店を目指し北村主任と連携して、引き続きご支援してまいります。



上席専門経営支援員
和田 憲



青木村商工会
主任経営支援員 北村仁史